

すずき せいいち まさよ
鈴木 精一さん・正世さん
(久喜市原)

鈴木さんご夫婦は、二人三脚で梨を栽培しています。精一さんは小学生のときから家業である梨栽培のお手伝いをしていたそうです。何事にもとても熱心で、奥様想いの優しい方です。

今年のご夫婦で白岡、久喜、菖蒲、東松山と幅広い地域の梨園をお手伝いに行き、合計で1町6反5畝の剪定をしました。梨園はそれぞれ栽培の方法が違うので、大変な面もありましたが、どこでも通用する技術を身に着けることができると思い頑張ったそうです。

現在鈴木さんは6反の畑で梨を栽培していますが、3年後には1町2反まで増やしたいそうです。『目標は県内トップ!』と将来に向けて目を輝かせている精一さんです。

「梨作りはとてもおもしろいです。まだまだ発展途上ですが、奥さんやたくさんの方の支えがあって今があります。人との繋がりを大切にすれば必ずプラスになります。JA南彩の求人求職制度「梨栽培サポーター」に多くの方が登録してほしいです。そしてお互い助け合いながらスキルアップをして地域の農業を盛り上げていきたい」とにっこり笑顔で話してくださいました。

(稲山通信員)



おもしろ農産物

ほっとけ栗たん南瓜を栽培している中山さん。今年も美味しい南瓜が収穫できました。その中で親子のように仲良く連結している南瓜が実りました。今までこのような南瓜は出来たことがなく珍しいとのこと。

中山 正雄さん
(久喜市上清久)

